

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
交通英語 2 A		基礎レベルの習得		福山 圭介	2 年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	Travel, Transportation, Sightseeing, Basic Expressions			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目		「交通概論」「基礎英語」「交通英語入門」				
講義の目的	将来、鉄道をはじめとした交通の現場で活躍するための英語の基礎から標準的な力をつけることを目的とします。					
到達目標	(1) 入門レベルについて一層のレベルアップとその定着、(2) 交通機関で用いることが想定される表現を学び、使いこなせるようになること。					
講義内容	1 年次の交通英語入門に続き、音声の聞き取りを中心とした英語学習を行います。音声教材は交通英語入門で使用したものと同様、観光や交通機関に関連するものを主に使用します。内容は 1 年生の時より難しくなりますが、皆さんに馴染みの深い題材をできるだけ取り上げたいと思いますので、毎回の復習を忘れず取り組んで下さい。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第 1 講	オリエンテーション	授業方針の説明と簡単な聞き取り問題			
	第 2 講	Travel	旅行一般に関する表現			
	第 3 講	Jobs and people	業務や職種に関する表現			
	第 4 講	Getting on the Plane	飛行機への搭乗に関連する表現			
	第 5 講	At the Immigration	出入国管理や税関で使われる表現			
	第 6 講	At the Airport	空港内での英語			
	第 7 講	Hotel (Accommodations)	ホテルや宿泊施設で使われる表現			
	第 8 講	Restaurant	食事に関する表現			
	第 9 講	Sightseeing	観光に関する表現			
	第 10 講	Shopping	買い物をする際の表現			
	第 11 講	Transportation	交通機関を利用する際の表現			
	第 12 講	Problems and Complaints	問題と苦情に関する表現			
	第 13 講	Traveling in Japan(1)	旅館・温泉などに関する英語			
	第 14 講	Traveling in Japan(2)	国内の観光・食事・お土産等に関する英語			
第 15 講	まとめと演習	これまでの復習演習				
指導方法	上記の講義スケジュールに沿ってテキストを進めていきます。テキスト以外にもさまざまな聞き取り、映像の視聴、英語のクイズなどを行います。講義はパワーポイントスライドによる座学に加え、実践的なスキット演習も取り入れていく予定です。					
事前学習	事前に目を通しておくべき資料などを授業内で指示します。（目安 60 分程度）					
事後学習	授業の理解度を確保するための課題問題があります。授業をしっかり復習して解いてください。（復習と解答で 90 程度）					
成績評価方法	平常点(主に課題点)50%+本試験 50%					
テキスト	観光英検センター編『ベーシック観光英語』, 三修社, 2014 年.					
参考書籍	特に指定なし。授業内で適宜紹介します。					
特記事項	テストによるクラス分けを行います。指定されたクラスを受講して下さい。					